

第102回（2021年10月度）監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 菊谷 純
（文責：松下 洋二）

1. 開催日時 2021年10月13日(水) 午後2時00分～午後5時00分
2. 開催方法・場所 ZOOMを利用したオンライン会議方式
講師はご自宅より解説
司会（委員長）は自宅より進行
委員は自宅または職場にて参加およびオンライン会議のサポート
3. テーマ 新型コロナウイルス感染症を踏まえた監査役等の留意事項（第二弾）
DX（デジタルトランスフォーメーション）時代の会計監査と内部統制監査
4. 講師 公認会計士 久保 恵一氏
5. 出席者 57名
6. 配布資料 （事前に参加予定者にメールで送付）
「監査懇話会監査技術ゼミ 2021年10月 新型コロナウイルス感染症を踏まえた監査役等の留意事項（第二弾） DX時代の会計監査と内部統制監査」

7. 議事次第

1) 運営委員長より開会の挨拶

菊谷運営委員長よりオンライン参加者のZOOM接続状況を確認したのち、開会挨拶と本日のテーマ紹介を行い、講師の久保先生を紹介された。

なお出席者の内、旧独立委員会セミナーも含めて当ゼミへの初参加者は以下の通り。

(株)ミクシィ	常勤監査役（社外）	加藤 孝子氏
(株)キューブシステム	元常勤監査役	小泉 滋氏
王子エンジニアリング（株）	常勤監査役	田島 洋氏

2) 講義

午後2時5分より3時5分まで、講師から資料に従って丁寧な解説がされた。10分間の休憩を挟み、4時7分まで資料に沿って引き続き解説がされた

3) 質疑応答および意見交換等

講義の後、5分間をチャット記入時間として、午後4時12分から5時00分まで参加会員会友との質疑応答が行われた。なお、質疑はZOOMのチャット機能に合わせて口頭での質疑も受け付けた。参加者からの主な質問や意見は以下の通り。

- ・ 一般の企業が簡単に導入できるデータ監査システム（ソフトウェア）はあるか
- ・ 監査法人がPPAP（パスワード付きZIPファイルを送ること）を禁止する理由
- ・ みずほ銀行の度重なるシステムトラブル（計8回）に対する会計監査人の監査結果はどうか。会計監査人や監査役の責任はあるか。
- ・ 残高証明書の偽造による経理従業員の2.3億円横領事件で、最高裁が監査役に責任がないとした原判決を東京高裁へ差し戻したことに意味は何か。
- ・ 技術進歩で間違いが発生しえない会計システム等が構築されたとしても、最初のデータ入力人が人である以上、正しく入力される仕組みが不可欠で、結局は内部統制の問題ではないか
- ・ 監査報720で期末監査日程はタイトになるはず。監査役の会計監査人監査の相当性判断のポイントはどうか。監査報告受領のタイミングは変わってくるか。

- ・ 会計監査人の監査計画で IT 統制監査の時間が年々増えているが、会計監査人からの明確な回答がないのはなぜか。
- ・ 監査役と会計監査人の双方向コミュニケーションは重要でKAMを介してますます連携を図るべきと思うが、監査法人はどう考えているのか

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答の後、菊谷運営委員長が講師に感謝の意を表されるとともに、参加者に対しアンケートへの協力要請を行った（後日メールで発信）。

さらに、次回の監査技術ゼミは 11 月 24 日に開催予定の旨案内した後、閉会となった。

以上